

1 カルビー株式会社

	各社の考え方
① 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none">● カルビーグループの排出量だけでなく、サプライチェーン全体の排出量を算定することで、地球温暖化への影響度を把握する。● ステークホルダーへの情報開示の要求に応えるため。
② 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none">● サプライチェーン排出量を把握し、削減すべき対象を明確にし、特定する。● CDPをはじめとする各種調査、当社ウェブサイト、レポート類の刊行物等で公開する。
③ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none">● Scope1,2,3における排出量算定により、カルビーグループとして取り組むべき課題が明確になる。より具体的な削減数値として提示可能となる。
④ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none">● 弊社生産管理部 環境対策課が主管となり、各担当部門よりデータ情報を収集し算定。

2

カルビー株式会社

	各社の考え方
⑤ サプライチェーン 排出量の削減に 向けて	<ul style="list-style-type: none">● 原材料・資材調達などの占有割合が高く、サプライヤー協力のもと、研究開発等による容器包装の減容化及び軽量化を図り、輸送配送も含めた排出量全体を削減する必要がある。
⑥ サプライチェーン 排出量算定の 課題	<ul style="list-style-type: none">● 今回の算定では、カルビー単体及びカルビーポテト(株)の一部の算定範囲だが、今後は国内外のグループ会社全てを算定範囲とし、削減対象を明確にしていく必要がある。
⑦ その他 (任意)	<ul style="list-style-type: none">●

3 カルビー株式会社

カテゴリ	算定方法 ※算定対象期間：2017年4月～2018年3月	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 原材料・資材購入量 重量優先次に金額の順に把握	● 原単位SC-DB,味の素DB
カテゴリ2「資本財」	● 設備投資額	● 原単位SC-DB
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● 燃料、電気のエネルギー使用量	● CFP-DB
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	● 荷主輸送のトンキロ ● サプライヤー輸送はシナリオ	● トンキロ法
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別排出量 ● 排水施設からの発生量	● 原単位SC-DB ● 排水処理DB
カテゴリ6「出張」	● 従業員の出張日数（国内・海外含む）	● 原単位SC-DB
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 従業員営業日数	● 原単位SC-DB
カテゴリ8「リース資産（上流）」	● Scope1.2計上済み	● 該当なし
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	● 出荷重量、製品輸送はシナリオ	● 輸送時の排出原単位
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● 該当なし	● 該当なし
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 該当なし	● 該当なし
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 容器包装リサイクル量	● 原単位SC-DB
カテゴリ13「リース資産（下流）」	● 該当なし	● 該当なし
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当なし	● 該当なし
カテゴリ15「投資」	● 該当なし	● 該当なし
「その他」	●	●

4

カルビー株式会社

サプライチェーン排出量算定結果

